健口ニュース

歯を大切にするための情報をお届けします!

小林歯科

0533-82-0555

歯を白くするホワイトニングの意外な効果

歯を白くすることが目的のホワイトニングには、歯が白くなるという効果以外にも、体の健康面や心理面にプラスになる意外な効果があります。ホワイトニングは歯を傷めず、手軽に歯を白くすることができますので、興味のある方はご相談ください。

◆見た目の印象が若々しくなる

歯の色は歳を取るにつれて黄ばむ傾向があり、老けて見える原因となります。ホワイトニングをして歯が白くなると、5歳くらい若く見えるという話もあるように、見た目を若々しく見せてくれる効果があります。

◆歯の予防に対する意識が高まる

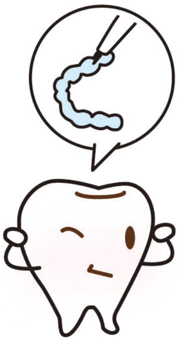
ホワイトニングをして歯がきれいに見えるようになると、歯に対する健康意識が高まるのと同時に、歯の白さを保つためにクリーニングなども積極的に受けるようになるので、歯をより健康に保ちやすくなります。

◆自分に自信がつき、積極的になれる

歯が白くなると笑顔にも自信がつくので、それまでなんとなく引っ込み思案だった人が性格的に明るくなり、積極的で外向的になるというケースが多く見られます。

◆むし歯、歯周病の予防効果

ホワイトニングをした後は、歯の表面のペリクルという膜が剥がれ、歯の再石灰化が起こりやすい状態になるため、歯が強くなる効果があると言われています。また、ホワイトニング剤として使われている過酸化水素による殺菌作用が期待できるので、むし歯や歯周病の予防効果があると言われています。



歯がしみるのは受診のサイン

知覚過敏が原因で歯がしみる場合もありますが、むし歯や歯の破折、かみ合わせなどが原因の場合もありますので、症状が続く場合は一度受診することをお勧めします。

むし歯

むし歯は進行するにつれ、その部分からしみる症状を起こします。まずは冷たいものや甘いものがしみて、だんだんと温かいものがしみるようになります。

知覚過敏

むし歯や歯の神経に問題がないのに歯がしみるという場合は知覚過敏が疑われます。症状が続く場合は一度受診しましょう。

歯の破折

歯にヒビが入っていたり、欠けているとその部分からしみることがあります。ヒビの場合は、見ただけでは分かりづらいため、しっかりと検査をする必要があります。

くさび状欠損

かみ合わせが悪かったり、歯ぎしりやくいしばりの癖があると、特定の歯に力がかかり続け、歯の根元がえぐれたように削れてしまうことがあります。これをくさび状欠損といい、歯がしみる原因になります。